

北海道栗山町の廃校を自然・環境教育および文化スポーツ体験学習の宿泊施設として 再生するプロジェクトが始動 「雨煙別(うえんべつ)小学校 コカ・コーラ環境ハウス」

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団(理事長: 縄英明、所在地: 東京都港区、以下コカ・コーラ教育・環境財団)は、北海道夕張郡栗山町(町長: 椿原紀昭)、および、特定非営利活動法人(NPO 法人)雨煙別学校(理事長: 時本識資)とともに、コカ・コーラ教育・環境財団が拠出する1億8千万円を原資に、栗山町の廃校「雨煙別小学校」を、次世代育成を主な目的とした、自然・環境教育や文化スポーツを体験学習する宿泊型施設『雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス』として再生させることに合意いたしました。

コカ・コーラ教育・環境財団は、1994年の設立以来、「心豊かでたくましい人づくり」の理念のもと、全国から環境教育に携わる団体・個人を選出し、特に顕著な活動を行っている団体・個人へ贈賞を行う「コカ・コーラ環境教育賞」(*1)の実施など、次世代育成を目的とした様々な支援事業をおこなって参りました。本年からは、「自然体験が少ない」「仲間と交流する体験が少ない」(*2)といった課題が社会問題として顕在化していることを背景に、従来 of 事業を継続・発展させ、より実践的な環境教育・啓発活動を全国で積極展開していきます。

このたび、そうした環境教育・啓発活動の一環として、全国の青少年が実体験を通じて環境について学ぶことができる「新しいフィールドの創設」を目的とし、北海道洞爺湖サミット開催を控え「環境」をキーワードに注目を集める北海道を舞台に、栗山町およびNPO 法人雨煙別学校とともに、栗山町の廃校を「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」として再生することを決定いたしました。

「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」は、公益法人と地方自治体、NPO が連携して少子化により廃校となった小学校を宿泊型体験学習施設として再生する、新しいプロジェクトです。「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」は、財団の支援のもと、特定非営利活動法人 雨煙別学校によって運営され、施設での環境学習プログラムのほか、栗山町の豊かな自然の中で体験学習をおこないます。財団は施設の改修・再生のために1億8千万円を拠出するとともに、財団の持つ環境教育プログラムやネットワークを提供していく予定です。

*1) 2007年は全国126団体・個人の中から、10団体を選出し、楯と活動助成金を贈呈しました。北海道内からは、「知床自然愛護少年団」が選出されました。

*2) 中央教育審議会／平成18年「青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について(中間まとめ)」より



「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」完成イメージ(※実際の完成とは異なる場合がございます)

◆ 「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」調印式 概要

日時:2008年6月3日(火)

15:00~15:30 「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」調印式

出席者(調印者):縄英明(なわひであき/財団法人コカ・コーラ教育・環境財団理事長)

椿原紀昭(つばきはらのりあき/栗山町長)

時本識資(ときもつつねつぐ/特定非営利活動法人雨煙別学校理事長)

内容:3者による概要説明、調印式

会場:「くりやまカルチャープラザ Eki」研修室 A

16:00~16:50 記念セレモニー

出席者:縄英明、椿原紀昭、時本識資、

角野中原(かくのちゅうげん/

北海道コカ・コーラボトリング株式会社代表取締役社長)

栗山町内小学生 65名

内容:予定地(校舎)見学、コスモス・クレオメ種蒔き、記念撮影

会場:「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」予定地(旧雨煙別小学校)

◆ 旧雨煙別小学校

1899年12月に開校し、昭和24年の町制施行と同時に、北海道夕張郡栗山町立雨煙別小学校となりました。その後、町とともに歩んできましたが、児童数の減少によって、1998年3月に閉校しました。同校は、北海道でも数少ない2階建て木造校舎として、歴史的価値のある建物と位置付けられています。町の歴史を物語る、この校舎を保存または再活用するため、役場で、地域で、そして町民の間で、これまで数多くの検討がされてきました。



【参考資料】

《財団法人コカ・コーラ教育・環境財団》

名称： 財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
英字名称： The Coca-Cola Educational & Environmental Foundation
監督行政： 文部科学省
許可日： 2007年6月25日
理事長： 縄 英明
所在地： 東京都港区六本木 6-2-31
ホームページ： <http://www.cocacola.co.jp/zaidan/>

◆概要

財団法人コカ・コーラ教育・環境財団は、2007年6月に37年継続していた日本コカ・コーラボトラーズ育英会と14年継続していたコカ・コーラ環境教育財団の事業を継承し、一元的に運営、推進できる母体として設立されました。心豊かでたくましい人づくり(Healthy Active Life)を理念とし、環境教育、教育支援、スポーツ教育を柱とした貢献事業を企画、提供することにより、国際社会が求める青少年の育成と、彼らを取り巻く地域社会を支える人材の育成を通じ、豊かな社会の形成及び国際親善に寄与することを目的に多様な事業を展開しています。

◆主な事業内容

- ・教育・スポーツ分野における青少年および指導者の育成事業
- ・教育・環境保全及び国際交流分野における青少年等の活動への顕彰・支援
- ・青少年に対する教育支援

《北海道夕張郡栗山町》

町長： 椿原紀昭
面積： 203.84 平方キロメートル
人口： 14,120 人(2007年9月)
ホームページ： <http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/>

◆概要

北海道の中央部に位置し、北は屈足山系で岩見沢市と、東は夕張山系に続く緩やかな丘陵地帯で夕張市と接しています。自然が豊かで、国蝶オオムラサキの生息地として知られています。札幌市内から車で1時間程の田園都市です。

《特定非営利活動法人 雨煙別学校》

名称： 特定非営利活動法人(NPO 法人)雨煙別学校
許可日： 2008年5月29日
理事長： 時本 識資(桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部長)
所在地： 北海道夕張郡栗山町雨煙別

◆概要

雨煙別小学校の活用を通して、子どもと高齢者の融合を図り、教育、環境、自然、文化スポーツ関連の支援活動を通じて社会に貢献することを目的に、2008年5月に設立。次世代の人材を育てる教育推進、地球環境をも視野に入れた自然・環境活動の推進、地域を魅力あるものにする文化スポーツの促進のほか、雨煙別小学校校舎の活用を通して、栗山町の活力形成にかかわる幅広い助言、援助を通じた健全なまちづくり等、広く公益に寄与していきます。

◆主な事業内容

- ・雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスの運営
- ・栗山町内外における自然・環境活動教室、文化活動教室、文化スポーツ教室の主催および共催
- ・自治体・大学等教育機関からの委託事業運営